

# 市の主要事業のあゆみ

## エコバレー、大交流の推進

### 《経緯・趣旨》

市では、人口減少下での経済成長という「不可能」に挑戦するため、環境都市「豊岡エコバレー」と「大交流」を推進しています。

「豊岡エコバレー」は、コウノトリが暮らしの中にいて、みんなでエコな(環境に優しい)活動に取り組み、その活動で市民が豊かになるというイメージです。

また、「大交流」は、観光客や研究者、豊岡ファンなどがどんどん来訪し、交流が拡大していく様子です。

### 《平成24年4月～6月取組み》

#### ■大規模太陽光発電所(メガソーラー発電所)の整備

再生可能エネルギーの地産地消、エネルギー利用の多様化を図るため、日高町山宮に最大出力約681キロワットの大規模太陽光発電所整備の準備を進めました。

#### ■豊岡エコポイント制度創設

誰もが取り組める環境行動を見える形で進める、豊岡エコポイント制度をスタートするための準備を進めました。

#### ■豊岡の情報誌発行

豊岡の情報誌「豊岡顔」とよおかふえいす」の創刊に向けて準備を進めました。

#### ■大交流アクションプランの策定

「大交流」を戦略的、効果的に推進していくため、大交流アクションプランの策定に着手しました。

○6月25日、市内の交流関係者や市職員によるワークショップ開催

### 《7月以降の実施・予定》

#### ■大規模太陽光発電所

7月の実施設計を経て、大規模太陽光発電所整備工事に着手する予定です。

#### ■豊岡エコポイント制度

7月18日、豊岡エコポイント制度をスタートしました。

#### ■豊岡の情報誌

「豊岡顔」を7月に発行しました。まちづくり、地域おこしなどに取り組み豊岡の「人」

に焦点をあて、アピールしていきます。

#### ■豊岡エキシビション2012開催

7月25日、首都圏での情報発信のため開催しました。

## 生物多様性関連事業の推進

### 《平成24年4月～6月取組み》

#### ■「豊岡市生きもの共生の日」事業

○5月20日、「子ども探検田結」を実施

市内外から小学生22人が田結湿地に集まり、生きものの観察や小さな自然再生を行いました。

#### ■生きもの調査などの実施

5～6月、市内の小学校14校の児童が、環境学習の一環として、それぞれの学校近くのビオトープ、田んぼ、川などで生きもの調査を体験しました。

#### ■ボランティアの日の実施

市民の皆さんにボランティア作業への参加を呼び掛け、実施しました。

○4月8日、戸島湿地の水路清掃

○4月30日、菜の花の会主催の円山川清掃

○6月7日、アベサンショウウオ生息地の草刈作業

■「円山川下流域・周辺水田」ラムサール条約湿地登録候補地に決定

「円山川下流域・周辺水田」が、5月10日開催の中央環境審議会野生生物部会で、ラムサール条約第11回締約国会議において新規登録される国内候補地9カ所のうちの1カ所選ばれました。

### 《7月以降の実施・予定》

■「円山川下流域・周辺水田」がラムサール条約湿地に登録(7月3日)

7月6～13日に、ルーマニアで開催されたラムサール条約第11回締約国会議に市長が出席し、登録認定書を受け取りました。また、サイドイベントなどで豊岡の取組みを発表しました。

#### ■ラムサールWEEK

「円山川下流域・周辺水田」がラムサール条約登録湿地となったことを記念し、同エリアの自然や文化をあらためて見つめる事業を7月22～29日に実施し、理解を深めます。

## 新庁舎建設事業の推進

新庁舎建設工事では、周辺地域の皆さんに大変ご迷惑をお掛けしています。



▲高さ約40メートルの大型クレーン

### 《平成24年4月～6月取組み》

#### ■工事の状況

○現本庁舎工事：免震装置を設置し、曳家工事が終了。1・2階の補強工事、3階の解体工事を行いました。

○新庁舎工事：土の掘削・搬出作業が終了。現場内に大型クレーンを設置し、新庁舎の躯体工事に本格的に着手しました。

### 《7月以降の予定》

現本庁舎3階の復元工事、外壁の補修工事を行うとともに、新庁舎の躯体工事を順次進めていきます。

## 歩いて暮らす まちづくりの推進

《平成24年4月～6月取組み》

■歩いて暮らすまちづくり条例制定、歩いて暮らすまちづくり構想策定

4月に「歩いて暮らすまちづくり条例」を制定し、併せて構想を策定しました。

市では、市民の皆さんが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる社会を築くため、健康づくり活動を起こしたくなるまちづくり、意識をしなくても自然と健康につながる行動を起こしやすくなるまちづくりを進めます。

■健康まちづくり指導員育成

健康づくり推進モデル地区などで、市民の健康づくり活動を指導いただく「健康まちづくり指導員」を募集し、14人の方が5月から研修を始めています。

《7月以降の実施・予定》

■健康づくり推進モデル事業

本年度の新たな事業として、行政区単位で健康づくりに積極的に取り組み、区民の健康増進と地域活力の向上を図ろうとするモデル地区を募集し

ました。その結果、次の4区がモデル地区となりました。

- ①下陰区
- ②西花園区
- ③竹野町桑野本区
- ④日高町岩中区

これらの区では、8月から3年間、市が支援する運動教室や歩数計を使った歩キング、区独自の健康づくり活動などに取り組まれます。同時に、市の行う血液検査やアンケート、体組成データや医療費データの提供に協力していただきます。

この取組みによる市民の健康度や地域活力に関する成果は、今後市広報紙などで随時お知らせしていきます。

■健康まちづくり指導員育成

引き続き、「健康まちづくり指導員」を養成します。



▲健康まちづくり指導員の研修

## 公共交通利用促進

《平成24年4月～6月取組み》

■上限200円バス社会実験

○コミュニケーションアンケート(14区)実施  
上限200円バス社会実験の評価に必要な情報を収集するため、西気地区と清滝地区でアンケート調査を実施しました。

○5月18日、推進協議会役員会・利用促進策打合せ会  
○乗込調査実施(延べ3回)

■バス待合所整備事業

○6月1日、全但バス「鞆団地バス停」竣工(初乗り)  
地域の住民団体などがバス待合施設を整備する際に、整備費用の一部を補助しています。この制度を利用し、「鞆団地バス停」が整備されました。

■市街地循環バス「コバス」が豊岡駅前広場乗り入れ開始

「コバス」が、豊岡駅前広場のバス停に4月1日から乗り入れを開始しました。

■e通勤プロジェクト・ノーマイカーデー

○6月22・26日、街頭キャンペーン実施

ペーン実施  
地域の公共交通を守り、次の世代へ残していくため、マイカーからバス・鉄道への転換を推進する「e通勤プロジェクト」を実施しています。

6月27日の「豊岡ノーマイカーデー」と「e通勤プロジェクト」を周知するため、街頭キャンペーンを行いました。

《7月以降の実施・予定》  
■上限200円バス社会実験  
運行事業者および地域が一体となり、一層の利用促進をPRするとともに、神鍋ならではの地域資源やイベントを活用した誘客による利用促進にも取り組みます。

■子ども向けバス教室

7月20・27日開催の「サンスト夏の夜市」で、バス車両を展示して行います。

■「山陰海岸ジオライナー」利用者助成

JR山陰本線を走る臨時快速列車「山陰海岸ジオライナー」を8人以上で利用された場合、鉄道運賃の2分の1を助成する事業を引き続き行います。

■KTR豊岡市民号

8月18日、舞鶴・宮津方面へ行きます。

## 中心市街地活性化

《平成24年4月～6月取組み》

新庁舎完成後の「市役所南庁舎別館」の活用整備構想を検討しています。

南庁舎別館などの活用により、まちなかへの集客力向上や地域への波及効果の向上を図ります。

■南庁舎別館の利活用方針

建物の文化的な価値を活かしながら、新たなにぎわいの場を創出します。

■カバン・アルチザン・スクエア事業概要

「かばん」をツールに宵田商店街の空き店舗を活用し、セレクトショップやパーツショップ、かばん職人を育成するスクール事業を展開します。

■いちご駐車場の利活用方針

駐車場やイベント広場などを整備し、中心市街地の玄関口を創出します。

《7月以降の実施・予定》

「市役所南庁舎別館」および「いちご駐車場」の整備構想を早期にまとめます。

